

第68回 御嶽山雲上大御神火祭 令和3年8月8日(日)

昨年からのコロナ禍の世界情勢の中にあって、今年の第68回雲上大御神火祭は、内容的に大きな意義のある御神火祭ともなりました。

それは昭和29年に初回の雲上大御神火祭を御嶽山頂上(御山)において8月8日午前2時に齋木を焚き上げ、世界平和等の諸願成就を祈願された大原則を、今年も引き続き実施できたことです。

今年は滋賀大教会のご奉仕により8月8日午前1時、八海山行場において浄火を焚き上げていただき、そして焚き上げた御神火を木曾本宮に遷して、8日午後8時、全国より奉獻された数10万本の齋木を焚き上げ、教内はじめ広く世の中へ御神徳をお分ちすることができました。

御神火祭の奉仕団も、昨年はコロナ禍のため本年に延期して頂いた滋賀県教区及び滋賀大教会の教師・信徒の方々約130余名が心一つにご奉仕していただきました。加えて地元はじめご来賓の皆様のご来臨を仰ぎ、本部役員はじめ各地より参拝又奉仕の教師・信徒・一般参拝者の参集を得て本来の大御神火祭の姿となって齋行できました。

何よりも有り難かったのは、天候です。実施前には7日から三日間の雨予報があり、加えてトリプル台風の影響は避けられないものと思っておりましたが、八海山祭場、木曾本宮祭場いずれも晴天の下、穏やかな天気恵まれ、関係者や参拝者の神恩感謝の喜びが祭場に満ち溢れておりました。

誠に感謝にたえない思いの中、神様霊神様が感応納受して戴けたことと喜んでおります。御嶽教においては、何はさておいても重要な行事・神事であり、どのような状況にあっても御山での御神火祭の原則意義は堅持していかなければなりません。管長就任時の「不易流行」が継続されました。

改めて神仏のご加護に感謝し、関係者各位に厚く御礼申し上げます。

第68回御嶽山雲上大御神火祭
令和3年8月8日



主 催：御嶽教大本庁

後 援：御嶽教全国教会・布教所・講社

**奉仕団：八海山祭場 御嶽教滋賀大教会
木曾本宮祭場 御嶽教滋賀県教区**

**協 賛：木曾御嶽奉仕会 / 木曾町観光協会 / 王滝村観光総合
事務所**

御嶽山雲上大御神火祭(八海山祭場) 御嶽山5合目
8月8日(日)午前1時
奉仕団:八海山祭場 御嶽教滋賀大教会



八海山祭場【御嶽山5合目】



大麻行事



斎主(岡本康成奉仕団長)祝詞奏上



御嶽教神楽奉舞



斎主岡本団長玉串奉奠



井上慶山管長 玉串奉奠



御神火（浄火）祈念



御神火（浄火）の採火



斎木焚き上げ



焚き上げ祈念

**御嶽山雲上大御神火祭(木曾本宮祭場) 木曾福島
8月8日(日)午後8時 開祭
奉仕団:木曾本宮祭場 御嶽教滋賀県教区**



御嶽山木曾本宮



木曾本宮神殿



御嶽山木曾本宮



第13代管長大教主 井上慶山



御神火祭祭場（木曾本宮齋庭）



第68回御神火祭浄書



御神火松明行列奉仕者集合



大駐車場より行列



御神火奉持の岡本団長



法螺貝の音も荘厳に



焚き上げ斎庭を巡って



本殿前での祭員



本殿前での入場



奉仕団・来賓



奉仕団 滋賀県教区



祭員の入場



修祓の儀



献饌の儀



斎主(管長)祝詞奏上



玉串奉奠



斎主謝辞



後藤衆院議員ご祝辞



焚き上げ祭場の神事



焚き上げ祭場の神事



三基の斎木壇に浄火の点火



斎主による神剣秘法奉行



斎主による神剣秘法奉行



祈念斎木投入



齋木壇祈禱祈願



御神火炎上



第68回御嶽山雲上大御神火祭